



2026 年 8 月 18 日

各 位

会社名 日 工 株 式 会 社
代表者名 取締役社長 中山 知巳
(コード番号：6306 東証 プライム)
問合せ先 常務取締役管理本部長 川上 晃一
(TEL. 078-947-3131)

スポンサードリサーチレポート
(2027 年 3 月期第 1 四半期アップデート版) 発行のお知らせ

当社は、投資家とのコミュニケーションを円滑にし、当社に対するご理解を深めていただくため、「スポンサードリサーチレポート_2027年3月期第1四半期アップデート版」を発行いたしましたので、お知らせいたします。

当リサーチレポートは、株式会社キャピタルグッツ・リサーチ&アドバイザリーに作成を依頼しておりますが、当社株への推奨は一切なく、当社が公表している情報および当社への取材に基づき、当社のビジネスモデル、業界動向、業績推移、長期的な事業戦略といった内容を投資家の皆様にわかりやすく説明するためのものです。

当リサーチレポートは、2025年12月1日に公表した「スポンサードリサーチレポート」の更新版です。当社の会社概要や各事業の概況につきましては、あわせて同レポートをご参照ください。いずれも当社ウェブサイトの「IRニュース」に掲載しております。

詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

以 上

27/3 期 1Q 決算レポート

東証プライム・機械

2026 年 8 月 18 日

日工（6306）

担当アナリスト

黒田真路

星野英彦 CMA

キャピタルグッツ・リサーチ&アド

バイザリー（CGRA）

順調な進捗と受注採算の改善を確認。良好な収益環境が継続

- 総括：8月10日引け後発表の27/3期1Q決算では、受注高が前年同期比34.6%増の140億円、売上高は同42.5%増の118億円、営業利益は2億74百万円（営業利益率2.3%）の黒字に転じた。上期および通期の会社予想営業利益は据え置かれ、上期予想営業利益11億円に対する進捗率は24.9%、通期予想38億円に対する進捗率は7.2%となる。ただし、同社は季節性の影響から1Qと3Qは業績が低水準となるため、1Q決算で業績動向を判断することは難しい。実際、前期、前々期は1Q決算の進捗率が低位であったものの、期初予想通期営業利益をクリアした。会社側は、「今1Q営業利益は、AP関連事業の旧価格案件の売上計上が進み、概ね社内計画通りに着地しつつ、1Q連結受注採算は営業利益ベースで約5pt改善している。旧価格案件は2Q頃に終了する見込みであり、その後は徐々に収益性の改善が進み、通期計画の達成を目指したい」としている。CGRAでは、良好な受注環境が継続しているうえ、各種資材価格上昇分の価格転嫁も着実に進んでおり、収益環境が改善基調にあるとみている。
- セグメント別業績動向：全体として順調な決算であるが、投資家の注目度が高いAP関連事業に関しては、増収ながらも営業赤字幅が拡大した。ただし、旧価格案件は2Q頃に終了するため、3Q以降は収益性改善が本格化する可能性が高い。一方で、BP関連事業は過去最高の営業利益水準を確保し、環境及び搬送関連事業の営業利益率は29.8%、製造請負関連事業の営業利益率も17.2%を確保するなどの好材料も確認できた。
- 関連企業の業績動向：CGRAはAP関連事業の業績先行指標として、世紀東急工業の舗装資材製造販売事業に注目している。27/3期1Qにおける同事業の受注高は、前年同期比4.3%増の約49億円であり、売上高は同3.9%増の約48億円、調整前営業利益は同20.3%増の約6億円（営業利益率12.5%）であった。BP関連事業では、太平洋セメントに注目しており、27/3期1Q売上高は、同5.1%増の2,219億円、営業利益は同13.9%増の114億円（営業利益率5.2%）と堅調に推移した。AP・BP関連事業ともに良好な事業環境が継続しているとみられる。
- 株主還元と株価バリュエーション：同社は7月24日付で、株主還元方針を拡充し、現中計最終年度の28/3期に1株当たり配当金50円（配当利回り4.9%）を目指しつつ、27/3期および28/3期における1株当たり配当金の下限を42円とした。また、株主優待制度も保有株数・保有期間に応じた内容へ見直した。株価バリュエーションに関しては、予想PERは14.7倍、PBRは1.0倍（26/3期末BPS基準）で評価されている。前回2025年12月1日発行の企業レポートと同様、サム・オブ・ザ・パーツのアプローチで試算される妥当PERは17.2倍であり、会社予想EPSを当てはめた理論株価は1,183円程度と試算される。

連結業績および各種株価データ

トレーディング・データ		業績推移：百万円		進捗率：%		27/3 会社予想	
		27/3	前年比：%	上期予想	通期予想	上期予想	通期予想
株価（26年8月14日）	1,014	11,822	42.5	46.7	21.5	25,300	55,000
52週レンジ：円	763~1,014	274	黒転	24.9	7.2	1,100	3,800
時価総額：億円	406	459	569.1	40.3	12.0	1,140	3,830
発行済株式総数：千株	40,000	203	黒転	25.4	7.7	800	2,650
平均売買代金（20日）：億円	1.3	5.3	黒転	25.4	7.7	20.8	68.8
会社予想PER：倍	14.7	-	-	-	-	21.0	42.0
PBR（26/3期末）：倍	1.0	-	-	-	-	4.0	2.0
予想配当利回り：%	4.1	-	-	-	-	-	61.1

本レポートは投資の勧誘・推奨・助言を意図したのではなく、当該企業に関する情報提供を目的として、当社独自の視点から作成されております。また、本レポートに記載されている内容は公表された情報に基づき作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本レポートの著作権は株式会社キャピタルグッツ・リサーチ&アドバイザリーに帰属しており、無断転写を禁じます。本レポートの内容は、今後予告なく変更される場合があります。当社及び本レポートは投資家の投資判断に開示することなく、投資に関する決定はご自身の判断で行って頂くようお願い申し上げます。

過去比較の業績進捗と好悪材料

① 例年通り弱めに見えるが、概ね社内計画線で推移

同社は、建設・公共関連への業績依存度が高く、9月と3月に業績が集中する季節性がある。このため、例年、1Qと3Qは売上高、営業利益ともに低水準となり、2Qと4Qに利益が偏る傾向にある。

実際、25/3期1Q営業利益の通期予想に対する進捗率は17.8%、26/3期1Qは営業赤字となったものの、最終的には期初の会社予想営業利益を上回って着地した。27/3期1Qの営業利益は、前年同期比で黒字転換した一方、通期予想に対する進捗率は7.2%にとどまった。

今1Q営業利益は、AP関連事業において旧価格案件の売上計上が進んだことに加えて、塗料不足などによる出荷遅れがみられたものの、概ね社内計画通りで推移した。一方で、各種資材価格の高騰に対する価格転嫁が着実に進んでいるうえ、旧価格案件の売上計上は2Q頃に完了するため、3Q以降は収益性改善が本格化するとみられる。

今1Q決算は概ね社内計画通りで着地した模様

② 今後のAP関連事業における収益性改善度合いに注目

セグメント別の業績動向を見ると、ポジティブな点として、①環境及び搬送関連事業の営業利益率が29.8%に達したこと、②BP関連事業は受注高と売上高が過去最高を更新し、営業利益は過去最高水準を維持したこと、③製造請負関連事業の営業利益率も17.2%へ上昇したこと、④破碎機関連事業は赤字幅が縮小したこと、⑤BP関連事業および環境及び搬送関連事業の1Q営業利益は上期予想に対する進捗率が約61%に達したこと、などが挙げられる。

APおよびBP関連事業ともに、関連業界の事業環境は総じて好調を継続している

一方、ネガティブな点としては、主力のAP関連事業において営業赤字幅が拡大したことである。AP関連事業は、受注環境が改善しており、1Q受注高は前年同期比27.6%増、売上高は同33.8%増と大きく伸長した。旧価格案件の売上計上が進んだことを主因に、営業赤字幅が拡大したことは、今1Q決算における最大の課題である。今後は旧価格案件の解消と価格転嫁効果が利益率改善にどの程度寄与するか注目される。

図表1：四半期ベースの業績推移

業績動向	25/3				26/3				27/3		26/3	27/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q予想	通期実績	会社予想
受注高	14,039	12,850	10,392	12,336	10,404	14,532	13,329	21,491	14,005	15,195	59,756	57,900
前年同期比	30.3	-10.5	-0.8	-6.1	-25.9	13.1	28.3	74.2	34.6	4.6	20.4	-3.1
売上高	9,849	12,785	10,436	16,092	8,294	12,822	10,042	18,213	11,822	13,478	49,371	55,000
前年同期比	16.6	49.8	-1.9	-2.3	-15.8	0.3	-3.8	13.2	42.5	5.1	0.4	11.4
営業利益	462	818	267	1,219	-54	822	329	2,002	274	826	3,099	3,800
前年同期比	na	122.3	-40.5	-2.5	na	0.5	23.2	64.2	黒転	0.5	12.0	22.6
営業利益率	4.7	6.4	2.6	7.6	-0.7	6.4	3.3	11.0	2.3	6.1	6.3	6.9
経常利益	625	843	403	1,200	68	842	481	2,034	459	681	3,425	3,830
前年同期比	832.8	117.3	-22.5	2.7	-89.1	-0.1	19.4	69.5	569.1	-19.1	11.5	11.8
当期利益	337	544	263	865	-61	755	293	1,549	203	597	2,536	2,650
前年同期比	1,148.1	69.5	6.9	20.5	na	38.8	11.4	79.1	黒転	-20.9	26.2	4.5

進捗率比較	25/3				26/3				27/3		25/3	26/3
	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	期初予想	期初予想
売上高	9,849	22,634	33,070	49,162	8,294	21,116	31,158	49,371	11,822	25,300	48,000	51,000
対通期予想	20.5	47.2	68.9	102.4	16.3	41.4	61.1	96.8	21.5	46.0	-	-
営業利益	462	1,280	1,547	2,766	-54	768	1,097	3,099	274	1,100	2,600	3,000
対通期予想	17.8	49.2	59.5	106.4	-1.8	25.6	36.6	103.3	7.2	28.9	-	-

出所：会社資料よりCGRA作成。オレンジ色背景部分は注目点。

セグメント別の業績評価

全体として順調に推移しているが、好悪材料が混在

同社の業績は季節変動が大きく、四半期業績のみで評価することは難しい。その点を踏まえ、CGRA では各事業を以下のように評価した。

- ・ AP 関連事業：増収ながら営業赤字幅が拡大「評価：×」
- ・ BP 関連事業：増収増益で過去最高営業利益水準を確保「評価：◎」
- ・ 環境及び搬送関連事業：減収減益ながら順調な進捗「評価：○」
- ・ 破碎機関連事業：増収、営業赤字幅が縮小「評価：△」
- ・ 製造請負関連事業：減収減益ながら高い収益性を維持「評価：○」
- ・ その他事業：増収増益「評価：○」

評価基準：◎＝ポジティブ、○＝良好、△＝中立、×＝ネガティブ。

3Q 決算辺りでは全てのセグメントで評価が「良好：○」以上となりそう

図表 2：セグメント別の業績進捗

業績推移と進捗 (百万円)	27/3 1Q 前年比:%		進捗率:%		27/3 2Q予想	27/3 会社予想		
			上期予想	通期予想		上期予想	下期予想	通期予想
受注高								
・ AP関連	5,612	27.6	46.8	23.7	6,388	12,000	11,700	23,700
・ BP関連	4,806	75.7	48.1	28.7	5,194	10,000	6,750	16,750
・ 環境及び搬送関連	879	-18.0	46.3	18.9	1,021	1,900	2,750	4,650
・ 破碎機関連	259	-18.8	28.8	10.0	641	900	1,700	2,600
・ 製造請負関連	968	24.7	56.9	26.5	732	1,700	1,950	3,650
・ その他	1,479	34.5	54.8	22.6	1,221	2,700	3,850	6,550
・ 受注高合計	14,005	34.6	48.0	24.2	15,195	29,200	28,700	57,900
売上高								
・ AP関連	4,130	33.8	43.9	19.1	5,270	9,400	12,200	21,600
・ BP関連	4,879	101.2	58.8	30.5	3,421	8,300	7,700	16,000
・ 環境及び搬送関連	699	-11.9	36.8	15.2	1,201	1,900	2,700	4,600
・ 破碎機関連	352	25.7	33.5	13.0	698	1,050	1,650	2,700
・ 製造請負関連	501	-26.1	29.5	14.5	1,199	1,700	1,750	3,450
・ その他	1,259	22.5	42.7	18.9	1,691	2,950	3,700	6,650
・ 連結売上高	11,822	42.5	46.7	21.5	13,478	25,300	29,700	55,000
全社費用前営業利益								
・ AP関連	-179	赤拡	na	na	609	430	1,100	1,530
・ BP関連	676	144.0	61.5	29.4	424	1,100	1,200	2,300
・ 環境及び搬送関連	208	-1.4	61.2	20.0	132	340	700	1,040
・ 破碎機関連	-23	赤縮	na	na	43	20	200	220
・ 製造請負関連	86	-13.1	35.8	17.6	154	240	250	490
・ その他	94	88.0	34.8	10.8	176	270	600	870
・ 全社費用	-587	na	45	22	-713	-1,300	-1,350	-2,650
・ 連結営業利益	274	黒転	24.9	7.2	826	1,100	2,700	3,800
全社費用前営業利益率								
・ AP関連	-4.3	-	-	-	11.6	4.6	9.0	7.1
・ BP関連	13.9	-	-	-	12.4	13.3	15.6	14.4
・ 環境及び搬送関連	29.8	-	-	-	11.0	17.9	25.9	22.6
・ 破碎機関連	-6.5	-	-	-	6.2	1.9	12.1	8.1
・ 製造請負関連	17.2	-	-	-	12.8	14.1	14.3	14.2
・ その他	7.5	-	-	-	10.4	9.2	16.2	13.1
・ 連結営業利益率	2.3	-	-	-	6.1	4.3	9.1	6.9

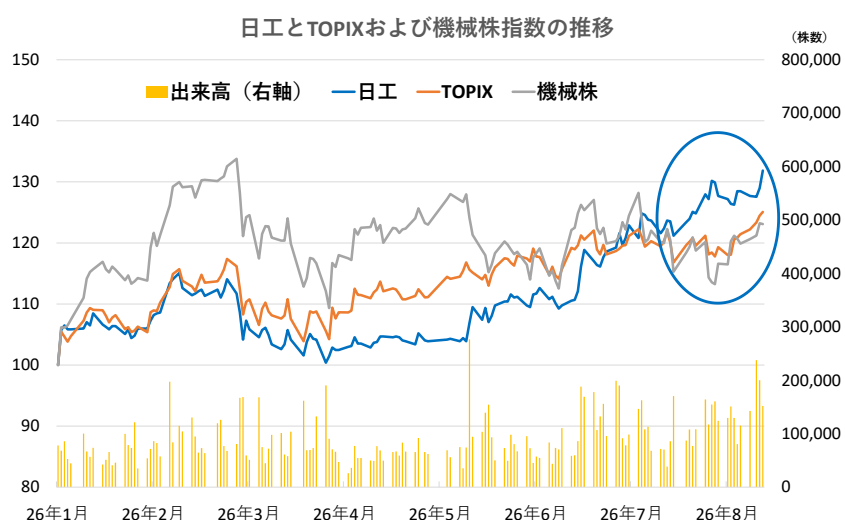
出所：会社資料より CGRA 作成。オレンジ色背景部分は注目点。

図表 3：日工株は現中計目標株価の 1,000 円に到達



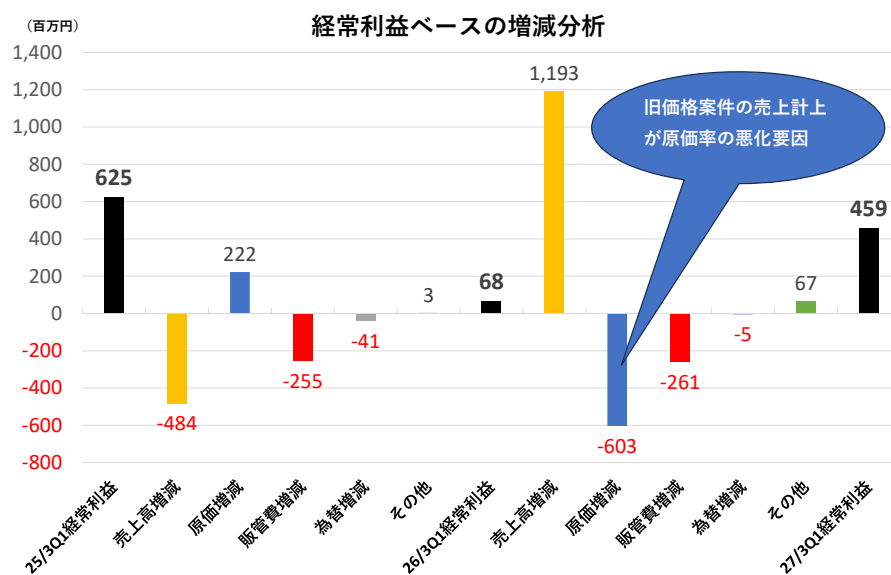
同社株は 2026 年 7 月 29 日に、現中計で掲げる目標株価 1,000 円に到達

図表 4：7 月以降、日工株は TOPIX、機械株をアウトパフォーム



7 月以降の同社株は、内需関連企業が物色される中、TOPIX および機械指数をアウトパフォーム

図表 5：2Q 以降は新価格案件の売上計上が進み、原価改善が見込まれる



今 1Q における原価率の悪化は、AP 関連事業における旧価格案件の売上増加が主因

出所：会社資料などから CGRA 作成

各種財務データ

図表 6：連結貸借対照表とキャッシュ・フロー計算書

(百万円、%)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
流動資産	30,764	30,479	29,390	31,426	32,381	34,127	33,723	41,033	40,126	38,927
現金・預金	12,669	12,157	10,347	12,622	12,491	12,436	10,317	15,551	14,038	11,484
受取手形・売掛金	11,592	12,563	12,359	11,611	12,007	11,032	11,235	13,167	13,570	12,619
有価証券	400	0	0	0	0	0	0	0	0	0
棚卸資産	5,370	5,126	6,026	6,645	7,200	9,655	10,874	11,649	11,713	13,999
その他流動資産	733	633	658	548	683	1,004	1,297	666	805	825
固定資産	14,211	14,396	14,578	14,250	16,315	17,951	18,404	21,196	23,598	25,515
有形固定資産	5,206	5,281	6,507	7,362	9,183	10,669	11,839	13,247	15,305	16,107
無形固定資産	331	318	418	431	660	1,036	1,020	1,208	1,198	1,090
投資その他資産	8,673	8,797	7,652	6,456	6,472	6,246	5,544	6,740	7,094	8,317
資産合計	44,976	44,876	43,969	45,677	48,697	52,079	52,127	62,229	63,725	64,443
流動負債	12,494	11,455	10,781	12,545	14,418	15,774	15,338	21,743	21,515	20,609
支払手形・買掛金	3,751	3,637	3,208	7,033	6,412	6,783	6,225	7,420	7,340	6,320
短期借入金・1年以内償還長期借入金	1,637	1,583	1,532	1,548	2,188	2,229	3,312	6,166	5,489	3,734
その他流動負債	7,106	6,235	6,041	3,964	5,818	6,762	5,801	8,157	8,686	10,555
固定負債	3,392	3,134	2,773	2,838	2,827	4,254	5,184	7,399	7,649	6,424
長期借入金	350	216	186	239	304	1,583	2,449	4,550	4,761	4,270
退職給付に係る負債	2,155	2,032	2,010	2,089	1,995	2,126	2,166	2,140	2,147	1,546
その他	887	886	577	510	528	545	569	709	741	608
負債合計	15,886	14,590	13,554	15,383	17,246	20,029	20,523	29,143	29,164	27,033
非支配株主持分	0	0	0	25	24	46	-40	57	8	10
株主資本合計	26,792	27,612	28,478	29,328	29,685	30,093	29,999	30,038	30,984	32,248
その他包括利益	2,296	2,673	1,935	939	1,742	1,910	1,644	2,990	3,567	5,150
純資産	29,089	30,286	30,414	30,293	31,451	32,050	31,604	33,086	34,560	37,409
負債・純資産合計	44,976	44,876	43,969	45,677	48,697	52,079	52,127	62,229	63,725	64,443
(百万円、%)										
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,064	274	-218	3,809	2,784	2,224	-1,644	4,332	2,994	2,592
税金等調整前当期純利益	1,878	2,299	1,933	2,440	3,045	2,599	1,693	2,231	3,197	3,276
減価償却費	482	472	508	611	677	745	944	998	1,127	1,263
売上債権の増減額	1,822	-918	95	686	-300	1,653	-196	-1,770	-319	1,133
棚卸資産の増減額	12	291	-991	-687	-359	-1,583	-1,156	-281	138	-2,123
仕入債務の増減額	610	-144	-1,008	1,317	-627	-28	-204	527	-257	-1,170
法人税等の支払額	-242	-1,001	-507	-769	-1,105	-1,002	-997	-309	-1,346	-1,120
その他	502	-725	-248	211	1,453	-160	-1,728	2,936	454	1,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	-316	41	-1,021	-609	-1,867	-2,165	-1,226	-2,333	-2,805	-1,428
投資有価証券の取得	-10	-242	-11	-11	-14	-423	-22	-14	-18	-17
投資有価証券の売却	740	844	834	772	579	754	1,002	111	136	558
有形固定資産の取得	-1,232	-558	-1,849	-1,392	-2,414	-1,697	-2,174	-2,321	-2,918	-2,004
有形固定資産の売却	0	16	0	28	0	0	0	0	30	3
関係会社出資金の売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子会社株式の取得による支出	0	0	0	0	0	-733	0	-332	0	0
その他	186	-19	5	-6	-18	-66	-32	223	-35	32
フリー・キャッシュ・フロー	4,748	315	-1,239	3,200	917	59	-2,870	1,999	189	1,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,690	-883	-526	-868	-1,129	-282	710	3,185	-1,749	-3,783
長期債務の調達・返済	9	-140	-112	64	70	1,053	897	2,252	162	-655
短期債務の調達・返済	-282	-73	83	45	550	-125	968	2,081	-683	-1,818
配当金の支払	-403	-423	-496	-1,002	-1,345	-1,260	-1,147	-1,149	-1,152	-1,308
その他	-1,014	-247	-1	25	-404	50	-8	1	-76	-2
現金及び現金同等物期末残高	12,622	12,110	10,300	12,575	12,444	12,389	10,270	15,504	13,977	11,394

図表 7：連結損益計算書

(百万円、%)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3会予
売上高	32,717	35,114	31,780	35,151	37,866	38,846	39,665	44,097	49,162	49,371	55,000
増収率	-4.1	7.3	-9.5	10.6	7.7	2.6	2.1	11.2	11.5	0.4	11.4
売上原価	24,131	26,301	23,485	25,512	27,675	28,346	29,348	31,992	35,169	34,173	-
原価率	73.8	74.9	73.9	72.6	73.1	73.0	74.0	72.5	71.5	69.2	-
販売費及び一般管理費	6,641	6,708	6,868	7,585	7,889	8,447	9,288	10,136	11,225	12,098	-
販管费率	20.3	19.1	21.6	21.6	20.8	21.7	23.4	23.0	22.8	24.5	-
営業利益	1,944	2,103	1,427	2,053	2,302	2,053	1,028	1,968	2,766	3,099	3,800
増益率	19.3	8.2	-32.1	43.9	12.1	-10.8	-49.9	91.4	40.5	12.0	22.6
営業利益率	5.9	6.0	4.5	5.8	6.1	5.3	2.6	4.5	5.6	6.3	6.9
営業外収支	49	135	150	89	671	221	228	176	304	326	30
営業外収益	201	233	243	236	800	335	330	416	443	544	-
営業外費用	152	98	93	147	129	114	102	240	139	218	-
金融収支	104	118	119	95	511	75	29	26	91	126	-
受取利息	12	5	2	2	2	2	2	4	8	28	-
受取配当金	140	155	157	139	546	123	104	141	182	231	-
支払利息	48	42	40	46	37	50	77	119	99	133	-
経常利益	1,993	2,239	1,576	2,142	2,973	2,274	1,255	2,144	3,071	3,425	3,830
増益率	20.9	12.3	-29.6	35.9	38.8	-23.5	-44.8	70.8	43.2	11.5	11.8
経常利益率	6.1	6.4	5.0	6.1	7.9	5.9	3.2	4.9	6.2	6.9	7.0
特別損益	-115	61	356	518	73	326	437	87	126	-149	-
特別利益	102	279	409	545	152	326	564	87	134	424	-
特別損失	217	218	53	27	79	0	127	0	8	573	-
税前利益	1,878	2,299	1,933	2,440	3,045	2,599	1,693	2,231	3,197	3,276	-
法人税、住民税及び事業税	538	809	587	852	963	1,614	941	987	1,187	737	-
税率	28.6	35.2	30.4	34.9	31.6	62.1	55.6	44.2	37.1	22.5	-
非支配株主利益又は損失	0	0	0	0	0	-34	-78	-68	0	2	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,340	1,490	1,345	1,588	2,082	1,649	1,020	1,312	2,009	2,536	2,650
増益率	-29.3	11.2	-9.7	18.1	31.1	-20.8	-38.1	28.6	53.1	26.2	4.5
当期利益率	4.1	4.2	4.2	4.5	5.5	4.2	2.6	3.0	4.1	5.1	4.8
連結EPS	34.3	38.75	35.12	41.17	54.31	43.16	26.67	34.25	52.29	65.85	68.79
セグメント売上高											
AP関連事業	16,580	17,179	16,434	17,518	19,467	18,328	17,341	17,938	19,480	19,327	21,600
BP関連事業	9,356	9,521	7,893	9,158	9,212	10,840	11,111	11,907	14,266	14,361	16,000
環境及び搬送関連事業	2,647	3,931	2,775	2,644	2,390	3,018	2,888	3,309	3,254	4,371	4,600
破碎機関連事業	-	-	-	-	-	-	2,217	3,198	2,256	2,448	2,700
製造請負関連事業	-	-	-	-	-	-	2,216	3,072	4,802	3,339	3,450
その他事業	4,259	4,480	4,677	5,840	6,796	6,660	3,892	4,670	5,101	5,522	6,650
連結売上高	32,717	35,114	31,780	35,151	37,866	38,846	39,665	44,097	49,162	49,371	55,000
セグメント利益											
AP関連事業	1,253	1,348	963	1,118	1,239	562	49	331	976	1,045	1,530
BP関連事業	1,006	1,015	666	761	879	1,123	1,017	1,341	1,724	2,003	2,300
環境及び搬送関連事業	369	308	417	562	482	587	522	793	847	1,216	1,040
破碎機関連事業	-	-	-	-	-	-	175	274	40	69	220
製造請負関連事業	-	-	-	-	-	-	157	270	645	543	490
その他事業	417	462	502	1,020	1,170	1,073	712	769	716	637	870
セグメント利益	3,047	3,134	2,550	3,462	3,771	3,346	2,633	3,780	4,950	5,515	6,450
セグメント利益率											
AP関連事業	7.6	7.8	5.9	6.4	6.4	3.1	0.3	1.8	5.0	5.4	7.1
BP関連事業	10.8	10.7	8.4	8.3	9.5	10.4	9.2	11.3	12.1	13.9	14.4
環境及び搬送関連事業	13.9	7.8	15.0	21.3	20.2	19.4	18.1	24.0	26.0	27.8	22.6
破碎機関連事業	-	-	-	-	-	-	7.9	8.6	1.8	2.8	8.1
製造請負関連事業	-	-	-	-	-	-	7.1	8.8	13.4	16.3	14.2
その他事業	9.8	10.3	10.7	17.5	17.2	16.1	18.3	16.5	14.0	11.5	13.1
セグメント利益率	9.3	8.9	8.0	9.8	10.0	8.6	6.6	8.6	10.1	11.2	11.7
全社費用	-1,102	-1,031	-1,122	-1,409	-1,469	-1,293	-1,605	-1,811	-2,183	-2,415	-2,650
連結営業利益	1,944	2,103	1,427	2,053	2,302	2,053	1,028	1,968	2,766	3,099	3,800
連結営業利益率	5.9	6.0	4.5	5.8	6.1	5.3	2.6	4.5	5.6	6.3	6.9

<担当アナリスト>

黒田真路 上席執行役員・パートナー、シニアアナリスト

1992年4月に勸角総合研究所（現みずほ証券）に入社、産業調査部に配属。1999年9月にジャーディン・フレミング証券（現JPモルガン証券）、ゴールドマン・サックス証券を経て、2020年1月までクレディ・スイス証券に在籍。ゴールドマン・サックス証券ではバイスプレジデント、クレディ・スイス証券ではディレクター。一貫して機械・造船・重機セクターを担当。2020年6月にパートナーとして、CGRAに参画。（一社）日本証券アナリスト協会の機械業界ディスクロージャー委員を歴任。

星野英彦 CMA 代表取締役・チーフアドバイザー

1987年4月に新日本証券（現みずほ証券）入社、企業調査部に配属。1997年にジャーディン・フレミング証券（現JPモルガン証券）、2000年にドイツ証券、2006年にUBS証券で2016年4月まで在籍。セルサイドアナリストとして機械、造船、重機、プラントセクターを28年間にわたって担当。2003年より2016年までマネージングディレクター。（一社）日本証券アナリスト協会で機械ディスクロージャー部会の副部会長を10年以上にわたり歴任。2017年6月に株式会社キャピタルグッツ・リサーチ&アドバイザー（CGRA）を設立、代表取締役に就任。（一社）日本証券アナリスト協会認定アナリスト。

株式会社 キャピタルグッツ・リサーチ&アドバイザー（CGRA）

機械セクターに特化したアドバイザー企業。主な業務は（1）資本市場のニーズを満たしつつ、経営へのフィードバックにも活用できる統合報告書の作成支援、（2）中期経営計画の作成やマテリアリティの特定、事業戦略、各種IR&SRに関するアドバイザー（アクティビスト対応を含む）、（3）各種資料の作成と英訳業務、（4）長期投資家と経営層の双方に有用な企業分析スポンサード・リサーチ・レポートの作成など。

本レポートは投資の勧誘・推奨・助言を意図したのではなく、当該企業に関する情報提供を目的として、当社独自の視点から作成されております。また、本レポートに記載されている内容は公表された情報に基づき作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本レポートの著作権は株式会社キャピタルグッツ・リサーチ&アドバイザーに帰属しており、無断転載を禁じます。本レポートの内容は、今後予告なく変更される場合があります。当社及び本レポートは投資家の投資判断に関知することなく、投資に関する決定はご自身の判断で行って頂くようお願い申し上げます。